

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年10月24日(火) 13:30~16:30
- 3 開催場所 郡上高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	日置 保次	郡上市立八幡中学校校長
副会長	小林 謙一	岐阜県森林文化アカデミー准教授
委 員	畑中 敦	一般財団法人郡上八幡産業振興公社営業企画部長
	西村 光晴	郡上市社会福祉協議会地域福祉課主管(欠席)
	元満 真道	ジビエ工房めいほう工房長(欠席)
	木村 達男	木村総合法律事務所弁護士
	畑佐 有美	郡上高等学校PTA (欠席)
	和田 望美	郡上高等学校PTA役員

学 校 側	狩野 靖	校長
	青木 博章	事務部長
	古田 寿朗	教頭
	岩淵 康幸	教頭
	安藤 一太	教務部長
	森下 大介	進路指導部長
	原 満	生徒指導部長
	森 秀樹	農場長
	臼田 尚之	普通科部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価アンケート結果報告

報告・全体分析…回答率の上昇、肯定的評価の増加、「体罰」に関する調査、「わからない」という評価に対する対応などについて

・項目別分析…教務、進路指導、生徒指導、農業科、普通科について

意見1: アンケートの内容や文章について、保護者は理解して回答しているのか。

意見2: アンケートの内容について、分かりやすくするために具体例を示した方がよいのではないか。

意見3: 日本語的に難しい表現があるので直した方がよいのではないか。

意見4: アンケートの内容を生徒や保護者にフィードバックする機会があってもよいのではないか。

(2) 学校課題について意見交流

① 不登校生徒の増加について

質問：現在、学校ではどのような対応をしているのか。

回答：担任が寄り添い、スクールカウンセラーが月1回程度希望生徒と面談している。また、スクール相談員が週2回常駐するほっとプレイスという場所があるが、中学時から不登校傾向にあり、登校自体が困難な生徒が多いため、活用できていない。専門的な相談員の確保にも苦慮している。

意見1：学校外の専門職の力を借りたらどうか。

意見2：保護者は情報共有だけでも楽になるので、親の会のようなものがあったらいいのではないかと。

意見3：先進事例である岡崎市の中学校内フリースクール（F組）を参考にしてみてもどうか。郡上市では八幡中学及び白鳥中学で推進中。

② 部活動の充実について

質問：部活動について学校はどのように考えているのか。

回答：部活動は個人や集団で目標達成に向けて努力する経験を積むことで、課題解決能力や人間関係を構築する力など、生きる力を育む場だと考えるので、積極的に参加してほしいが、加入率は8割を下回っている。部活動の活発さは学校の覇気（活気）に関わるため、もっと加入してほしい。

意見1：今の生徒は人と関わることを怖がる傾向があるように思うので、人と関わって切磋琢磨することの大切さを教える機会が必要ではないかと。

意見2：教員の働き方改革や地域人材の活用などを考慮して、既成の形にこだわらない部活動のあり方を考えてもいいのではないかと。

③ 地域連携について

意見1：地域住民から見て、高校からの依頼で生徒と協働する場面が増えたと感じている。

意見2：中高が連携した取り組みや、学校と地域が連携した取り組みを教育課程に組み込めるといい。

意見3：郡上北高校のように、本校も連携型中高一貫教育を目指したらどうか。

6 会議のまとめ

- ・学校評価アンケートについて、答える側に立って分かりやすく、本校の教育活動とつながる項目を考案する必要性を確認した。
- ・学校課題について、今後も継続して当会議において協議していくことを確認した。